

講座名 (コード)	モダン建築 (602)	募集 人数	20 名	曜日 時間	木曜日 19:30-21:10
対象者	近代建築に興味のある方				
講座内容	産業革命以後、鉄・ガラス・コンクリートという建築材料が主役になっていくなかで、21 世紀に至るまで近代建築は多彩に変化していきます。実存主義が生まれた時代に、人間と同様に自由を手にした近代建築の、現代までの歴史を振り返りながら、豊かな建築の世界を学んでいきます。 また、様々な近代建築を学びながら、建築の図面を描いたり、模型を作成したりすることで、多様な表現力を養います。				
達成目標	近代建築の歴史的な意義を理解する。 図面の描画や模型の制作を通して、近代的な手法による造形方法を身につける。				
年間予定	前期 (前半) ●建築様式の変化 ●近代建築 (機能主義) の誕生 前期 (後半) ●近代建築の象徴「鉄筋コンクリート造」とは ●安東忠雄『住吉の長屋』の図面の描き方 (図面作成) 後期 (前半) ●安東忠雄『住吉の長屋』の模型の作り方 (模型作成) ●安東忠雄の建築と次世代の建築家たち 後期 (後半) ●近代建築から現代建築へ ●機能主義を超えて (漂うモダニズム)				
用意 するもの	前期 ・筆記用具、スケッチブック、製図用紙、長尺、直角定規など 後期 ・カッター、カッターマット、スチのり、スチレンボードなど				
教科書名 (参考書)	『画文でわかる モダニズム建築とは何か』藤森 照信 (著), 宮沢 洋 (イラスト) ※購入は必須ではありません。より学習を深めたい方のための参考書としての推奨本です。				
教材費等	諸費用 スポーツ安全保険料 800 円 (模型作成の際に、段ボールを御準備いただきたいです。また、精度の高い模型作成を行いたい方につきましては、別途 5,000~8,000 円ほどのスチレンボード代が購入費用としてかかります。購入に際しては、世界堂などの画材店をご利用ください。)				
担当予定 講師略歴	慶應義塾大学商学部商学科卒業。 東京理科大学工学部建築学科卒業。 現在、法政大学大学院デザイン工学研究科建築学専攻にて、大阪万博のパビリオン設計者である小堀哲夫教授に師事。メキシコ大使館の実測調査やケニアでの黒綿土ブロック制作のプロジェクトに携わっている。				